



Success! Weekly Letter

市場は最高でも総合クラブは伸び悩むー最新決算が示す現状と課題

総合フィットネスクラブ大手5社の 2026年3月期第1四半期連結決算

	売上高	営業利益	最終利益
ルネサンス	15,560 (0.8)	△280(ー)	50 (△74.1)
コナミススポーツクラブ	12,079 (2.1)	426 (75.3)	非公開
セントラルスポーツ	11,444 (3.3)	223(△22.1)	53 (△93.1)
ティップネス	6,683 (2.7)	△354 (ー)	非公開
ホリデイスportsクラブ	3,102 (0.3)	239 (ー)	非公開

※単位：百万円。百万円未満は切り捨て。() 内は前年同期比増減率%。△はマイナス。
総合クラブ大手2社(スポーツクラブNAS、メガロス)は非公開。

国内フィットネス市場は、2023(令和5)年に4,886億円(前年比8.5%増)、2024(令和6)年には5,389億円(同10.3%)と、2年連続で大幅成長を記録しました(「日本のフィットネスクラブ業界のトレンド 2025年版」より)。コロナ禍からの回復を背景に、多くの企業で会員数・単価ともに改善が進み、市場規模は史上最高値を更新しています。

この追い風の中、総合クラブを中心とする大手5社(ルネサンス、コナミススポーツクラブ、セントラルスポーツ、ティップネス、ホリデイスportsクラブ)の2026年3月期第1四半期(4～6月)連結決算が8日、出そろいました。

売上高は5社すべてで前年同期を上回りました。最大手のルネサンスは155億60百万円(前年同期比0.8%増)、2位のコナミススポーツクラブは120億79百万円(同2.1%増)、3位のセントラルスポーツは114億44百万円(同3.3%増)と堅調。ティップネスは66億83百万円(同2.7%増)、ホリデイスportsクラブは31億2百万円(同0.3%増)でした。成長率ではセントラルスポーツが3.3%増とトッ

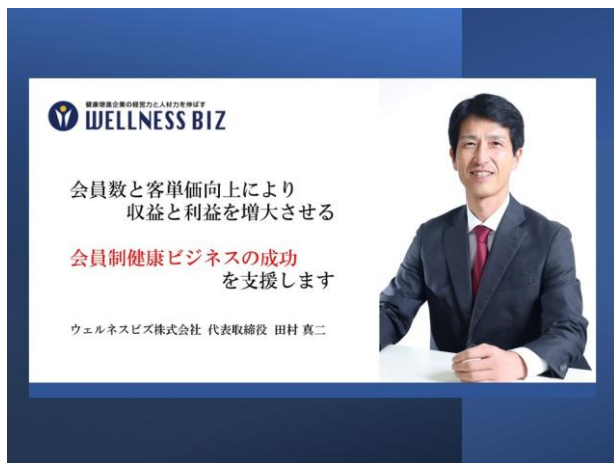
プですが、全体としては2024年の市場成長率には届かず、他業態(24時間ジムや専門スタジオなど)に成長を奪われている構図が浮かびます。

営業利益では、コナミススポーツクラブが4億26百万円(75.3%増)と大幅な増益を確保。一方、ルネサンスは2億80百万円の赤字、ティップネスも3億54百万円の赤字と、利益改善が課題です。セントラルスポーツは2億23百万円(22.1%減)と減益、ホリデイスportsクラブは前年同期の51百万円の赤字から2億39百万円の黒字となりました。最終利益では、ルネサンスが5,000万円(74.1%減)、セントラルスポーツが5,300万円(93.1%減)と、大幅減益となりました。

今回の決算から見えるのは、「**市場全体は成長しているが、総合クラブ大手はその成長を十分に取り込めていない**」ことです。特に収益面では、施設維持コスト・人件費の高止まり、エネルギー費用の上昇が重しとなっています。さらに、低価格・専門特化型など多様な業態が利用者の選択肢を広げ、従来型総合クラブの集客を圧迫しています。

事業者に求められるのは、**単なる会員数増ではなく、高付加価値&高単価サービスの提供や新たな顧客層の開拓(およびコストコントロール)**です。パーソナルや小規模グループレッスン、ウェルネスプログラムなど、「総合クラブだからこそできる」強みを再定義し、価格以上の価値を感じてもらえる仕組みづくりが不可欠です。

本日も最後までお読み頂きありがとうございます。
それでは次号をお楽しみに！



会員制健康ビジネスコンサルタント。ウェルネスビズ株式会社代表取締役。東京都出身。イオンで22年間、フィットネスと小売事業の現場および本社で様々な職種に従事した後、2007年に同社を退社。同年、会員制健康ビジネス領域で事業展開する中小・ベンチャー企業の経営不安を丸ごとサポートするコンサルティング会社を設立。会員数拡大、客単価向上、継続月数増を掛け合わせた「儲かる事業構築の仕組み」導入により、全国各地に高収益企業を多数生み出している。現在は、コンサルティング、講演、セミナー、執筆活動等を行っている。

お問い合わせ先

ウェルネスビズ株式会社

お問い合わせ先:<https://www.wellness-biz.jp/contact>

会社URL :<https://www.wellness-biz.jp>

TEL:03-4530-6263

FAX:03-3562-7822

〒104-0061

東京都中央区銀座1-3-3

G1ビル7階 1180号

免責事項

このニュースレターで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては一切、当方やライターに責任や義務は発生しません。ここでの情報や助言を参考にした判断は、当然ですが、すべて読者の責任において行ってください。